

Safety Data Sheet (SDS)

改定日：2025.04.17

1.製品名及び会社情報

製品名：阪和中性トイレクリーナー

発売元：株式会社 阪和

住所：〒599-8266 大阪府堺市中区毛穴町 140 番地-1 電話：072-275-0581 FAX: 072-275-0580

製品用途：中性トイレ洗剤

2.危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	金属腐食物質	区分外
	引火性液体	分類対象外
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入・ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入・蒸気）	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性	区分 2 A
	生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	分類できない	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない	
* 記載の無いものは分類対象外または分類できない		
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分 3
	水生環境慢性有害性	区分 3

GHS のラベル要素



阪和中性トイレクリーナー

Safety Data Sheet (SDS)

注意喚起語 警告 飲み込むと危険

危険有害性情報

H315-皮膚刺激性

H319-眼刺激性

安全対策

- ・使用前に取扱説明書を入手すること
- ・すべての安全予防措置を読み、理解するまでは取り扱わないこと。
- ・個人用保護具を着用すること。
- ・室外もしくはよく換気された場所でのみ使用すること。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・保護手袋を着用すること。
- ・この製品の使用時には飲食、喫煙は禁止。
- ・環境に放出しないこと。

応急処置

- ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。
- ・応急処置をしても具合が悪い場合は、ただちに医師に連絡すること。
- ・皮膚や髪に付着した場合は、直ちに洗い流すこと。
- ・汚染された衣服は洗濯をすること。
- ・皮膚に炎症や発疹が起きた場合、医師に治療を受けてください。
- ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分が悪いときは医師に連絡すること。
- ・飲み込んだ場合は口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ・漏出物を集めること。

保管

- ・子供の手が届かないところ、日光が当たらない冷所に保管してください。

廃棄

- ・内容物および容器は承認された廃棄物処理場（業者）に廃棄すること。

その他

- ・ほかの危険有害性：情報なし

阪和中性トイレクリーナー

Safety Data Sheet (SDS)

3.組成、成分情報（化学物質・混合物の区別）

成分名/化学名	含有量	CAS 番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
スルファミン酸	1.5%	5329-14-6	1-402	1-(3)-497
りんご酸	0.5%	6915-15-7	2-1442	8-(1)-2116
クエン酸ナトリウム	0.5%	68-04-2	2-1323	-

4.応急処置

眼に入った場合：上下のまぶたを開き、15分以上大量の流水で眼球の隅々まで行き渡るように洗う。

不快感が続く場合は、医師の診察を受ける。

皮膚についた場合：石けんと水で洗い流す。衣服に付着した場合は脱いで洗ってください。

不快感が続く場合は、医師の診察を受ける。

摂取した場合：大量の水を飲んで直ちに医師の診察を受ける。

吸入した場合：外気の新鮮な空気を吸って下さい。

不快感が続く場合は、医師の診察を受ける。

5.火災時の措置

本製品が製品乾燥物に着火した場合は、次の処置方法に従うこと。

消火剤：粉末、二酸化炭素、泡（耐アルコール泡）、水噴霧

消火方法：注水、水噴霧、各種消火剤などの使用

消火する人の保護：消火作業の際には適切な呼吸保護具を着用し、煙の吸入を避ける

注意：加熱により容器が爆発するおそれがある。

火災によって刺激性または毒性のガスを発生するおそれがある

6.漏出時の処置

人体に対する注意事項：

保護具（手袋、眼鏡）を着用し、漏出量が多い場合はバキュームで吸い取る。少量の場合は

阪和中性トイレクリーナー

Safety Data Sheet (SDS)

ちり取り等で素早く取り、水洗いをしてください

環境に対する注意事項：

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響をおこさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込み浄化の方法及び機材

ちり取り等で密閉できる容器に回収する

利用可能な情報はない

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体及び場所をよく洗浄する。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い：

- ・ 注意事項：眼及び皮膚、口などに付着しないように注意する。
汚染を避けるため、一度容器から出した液体をもとに戻さないこと。
使用都度容器を密閉すること。弊社指定の容器以外には移し替えないでください。
- ・ 保管：直射日光の当たらない場所、40℃以上の高温になる場所、湿度の高い場所には保管しないで下さい。
- ・ 子供の手の届くところに保管しないで下さい。

8.暴露防止及び保護処置

換気：必ず換気をして使用する

呼吸保護具：不要

保護用衣類：ゴム手袋、長袖、長ズボン、エプロンの着用の上使用

眼の保護：ゴーグルを使用

このセクションで記述された取り扱いは、この製品を使用する際の危険性を最小限にするための一般的指導として述べています。

9.物理的及び化学的性質

物理状態

阪和中性トイレクリーナー

Safety Data Sheet (SDS)

色	薄い水色
性状	液体
臭い	フローラルのかおり
融点/凝固点	データなし
沸点	データなし
可燃性	データなし
蒸発速度	データなし
爆発上限界	データなし
爆発下限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
pH 原液 25°C	7±0.5
粘性@25°C	データなし
VOC	データなし
水溶解	データなし

10.安定性及び反応性

安定性：通常取扱条件において安定

不適合（避けるべき条件）：高温・多湿と直射日光,

不適合（避けるべき材料）：利用可能な情報がない

有害な分解物：利用可能な情報がない

11.有害性情報

急性毒性	Nite の GHS 分類に基づく
皮膚腐食性/皮膚刺激性	Nite の GHS 分類に基づく
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	Nite の GHS 分類に基づく
呼吸器感作性または皮膚感作性	Nite の GHS 分類に基づく
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし

阪和中性トイレクリーナー

Safety Data Sheet (SDS)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	Nite の GHS 分類に基づく
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	Nite の GHS 分類に基づく
誤えん有害性	データなし

12.環境影響情報

生体毒性

化学名	藻類/水性植物	魚	甲殻類
クエン酸ナトリウム	EC50:Chlorella vulgaris 18000-32000 mg/L 96h	LC50:Poecilla reticulata 18000-32000 mg/L 96h	EC50: Daphnia magna 5600-10000 mg/L 48h

その他データ データなし

残留性	利用可能な情報なし
生体蓄積性	利用可能な情報なし
土壌中の移動性	利用可能な情報なし
オゾン層への有害性	利用可能な情報なし

13.廃棄上の注意

少量の余った本製品廃棄の場合：廃棄は都道府県の法律、規制に則る必要がある

汚染容器及び包装：容器は都道府県の法律、規制に則る必要がある

大量に本製品廃棄の場合：都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物収集運搬業者や処分業者に廃棄物
処理法、及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

14.輸送上の注意

国際規制

<国連番号>	: 非該当
<品名>	: 非該当
<危険物クラス>	: 非該当

阪和中性トイレクリーナー

Safety Data Sheet (SDS)

<容器等級> : 規制されていない
<緊急時応急措置指針番号> : 非該当

国内規制

<陸上輸送> : 特段の規制なし
<海上輸送> : 特段の規制なし
<航空規制情報> : 航空法規制に従う
<海洋汚染物質> : 該当せず

15.適用法令

消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
PRTR法 * 令和5年4月1日より	
改定化学物質排出把握管理促進法	非該当
危険物船舶輸送及び貯蔵規制安全法	非該当
航空法	航空法規制に従う
労働安全衛生法【R7.4.1以降】	非該当
【R8.4.1以降】	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2) (スルファミン酸・DL-りんご酸)
輸送規制	非該当

16.その他の情報

引用文献および参照ホームページ等

NITE : 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

NITE-Gmiccs GHS 混合物分類判定、ラベル/SDS 作成支援システム

<https://www.ghs.nite.go.jp/>

製品安全データシートは製造者が現時点で入手できる資料、情報及びデータなどに基づき作成しております
情報の完全さ、正確さを保障するものではありません。

阪和中性トイレクリーナー

Safety Data Sheet (SDS)

危険・有害性化学商品について、安全な取扱いを確保するため参考情報として、取り扱う事業者に提供されるものです。

すべての化学薬品には未知の危険性や有害性がありえるため、ご使用の際には商品表示ラベル記載内容及び安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。

改定日：2025.04.17